

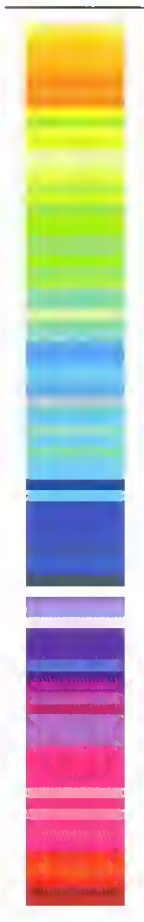


G: BEAST INSECTS



# NOSTALGIC FICTION

## G-BEAST INSECTS



二次創作「G-BEAST」は1997年に放送された架空の番組として構築されています。

僕たちはこの機会を仮に「ノスタルジックフィクション」と呼ぶことにしました。

このノスタルジックフィクション（以下NF）をなぜ1997年に展開していく必要があるのか？

理由は、意味を持った一つの分岐点になりえる時代だったからです。

僕たちロボットアニメファンにとって90年代後半は、ガンダムや勇者シリーズの新作が毎年作られる黄金の時代を迎えていました。

永遠に続くと思われたこの時代は…ガンダムはXで、勇者はガオカイカーで…一足踏み降ろされます。

シリーズ終了にはいくつもの複合的な理由があると思われませんが僕たちはこう定義することにしました。

「玩具売上と視聴率の低迷」

これを事実と仮に設定し、もしもう一年この夢のような時間を無事に迎える事ができたとしたら…

いつしか90年代後半に頭を焦かした僕たちはそんな妄想にふけるようになりました。

まずはじめにこのパラレルワールドを作るための切り口を、当時噂されていたスポンサー企業の合併を切っ掛けに設定しました。

コナミ

三井物産

次のページから「ちょっと懐かしいノリ」の馬鹿げた「嘘」がはじまります。

少しでもあのころのワクワクを感じていただければ幸いです。



■26\_27 Argios GUNM

■04\_05 Eastre GUNM

■06\_07 GUNM Meness

■10\_11 Rhamphor GUNM

■08\_09 Ptera GUNM

■12\_13 GUNM Graptor

■14\_15 GUNM Xsot

■16\_17 GUNM Sniper

■18\_19 帝王 GUNM

Zoo  
Educational  
Institution







■28\_29 Ubhel GUNM

■30\_31 Arak GUNM

■32\_33 Quent GUNM

■34\_35 Characer

■20\_21 Dybile GUNM

■22\_23 Graffias GUNM

■24\_25 Ebract GUNM





XZM-LE01G



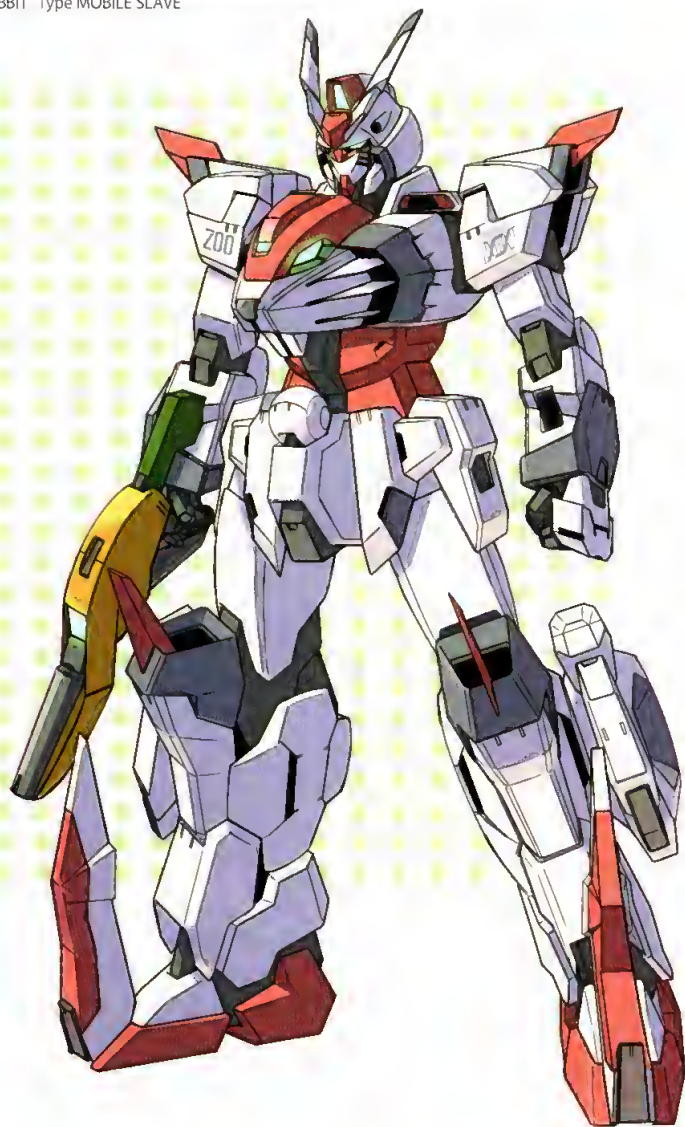
EASTRE GUNM

エオストレガム

design by スケキヨ

ウサギといえば長い耳が特徴ですが、  
変形時にウサギが完成するようにあえてつま先に耳かくるようデザインしました。  
ウサギというシンプルなモチーフですが、ロボとしてのディテール密度にも気を配りました。

"RABBIT" Type MOBILE SLAVE



Zooが開発した機体。  
ビースト因子適合がさほど高くないパイロットでも操縦できるようになっている。  
全体的に小型にまとまっており、偵察任務等に使われる事が多い。  
GUNMタイプではあるが扱いやすい為、少数量産されている。

兵装：Beam Rifle、Prick Slate







XZM-LE02G



GUNM MENESS

ガンムメネス

design by スケキヨ

白ウサギとは対照的に、色やシルエットも景像になるよう心がけました。  
足にあった耳を二丁の銃剣とすることで、戦艦スタイルの違いも再現しています。

"RABBIT" Type MOBILE SLAVE



Zoo が開発した XZM-LE01G の同系機。

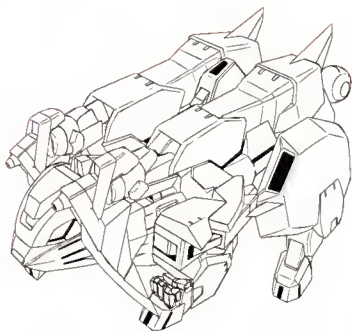
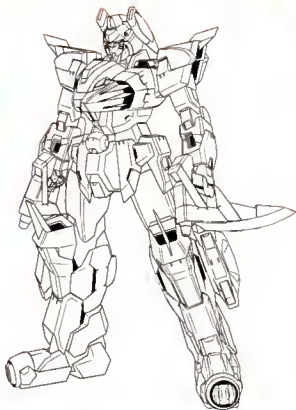
空間の威力増強用に改修されている。

武器の "GUN Marauder" は小型ビームガンとダガーを一体化させたもので扱いやすい。

XZM-LE03G という同型の砂漠戦仕様機も存在する。

兵装：GUN Marauder Prick Slate





XZM-LE02G



GUNM MENESS

ガンムメネス

"RABBIT" Type MOBILE SLAVE

design by スケキヨ

銃剣をそのまま先に付けることでたれ耳を再現しました。  
銃口が前向き、耳を開くことでこの形態でも武器を使えるようデザインしました。



XXM-PTE004G



PTERA GUNM

プテラガンム

design by Kaz

プテラノトンはわかりやすい特長が多いので、個々のイメージを崩さないよう気を配りました。

"PTERANODON" Type MOBILE SLAVE



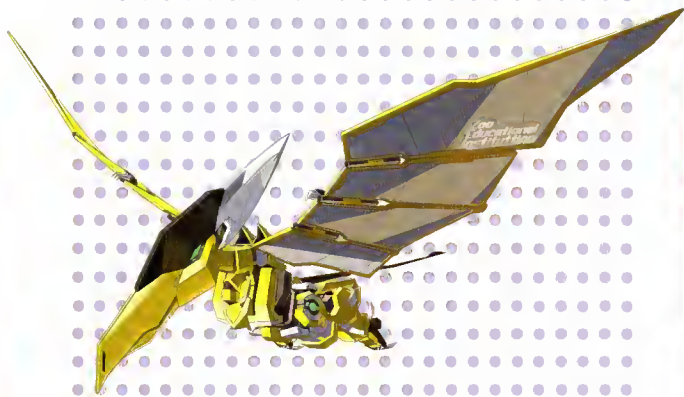
大気圏内の空中戦を得意とする機体。

エネルギーの消費を抑えるため、スラスターメインの飛行ではなくグライダーのように滑空することも可能。

下半身に多くのセンサーを備えており空中警戒にも特化している。

胸腕に装備されている腕部のトスカ部分がサーベルになっており、MS形態では武器としても使用可能である。





XXM-PTE004G



PTERA GUNM

プテラガンム

"PTERANODON" Type MOBILE SLAVE



XXM-RHA005G



RHAMPHOR GUNM

ランフォールガンム

"RHAMPHORHYNCHUS" Type MOBILE SLAVE

design by Kaz

変形後の頭部が大きく異なります。  
 フデラノトンと比べ弾猛そうなイメージになるようにしました。  
 ランフォリンクについてはお話を頂く前には存在すら知りませんでした。  
 これをきっかけに翼竜に興味を持ちを沢山調べました。 いっぱいいるんですね！



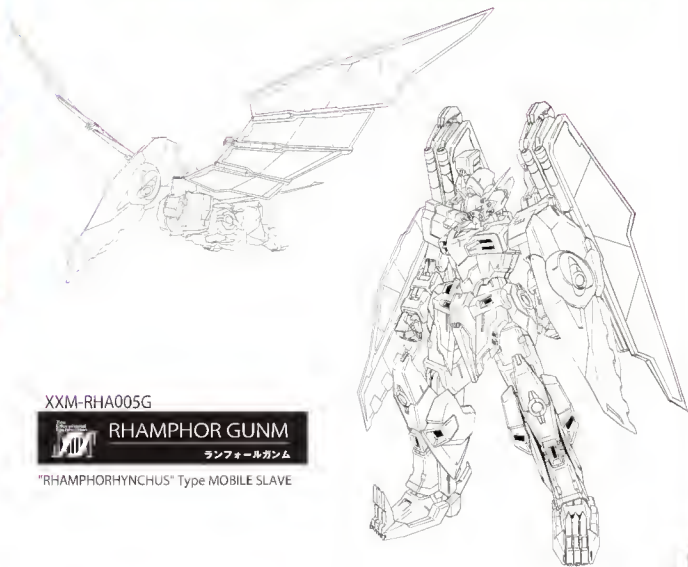
XXM-PTE004Gの改良型で大気圏内の空中戦を得意とする機体。

外見以外に基本的な性能に大きな差異はない。

XXM-PTE004Gと比べ格闘戦は劣るものの、両腕に装備されている頭部の腕部分が開閉し、物を挟んだり砕いたりすることができる。

兵装：Head Vulcan Beam Saber





XXM-RHA005G



RHAMPOR GUNM

ランファールガンム

"RHAMPORHYNCHUS" Type MOBILE SLAVE



OM-CA01G



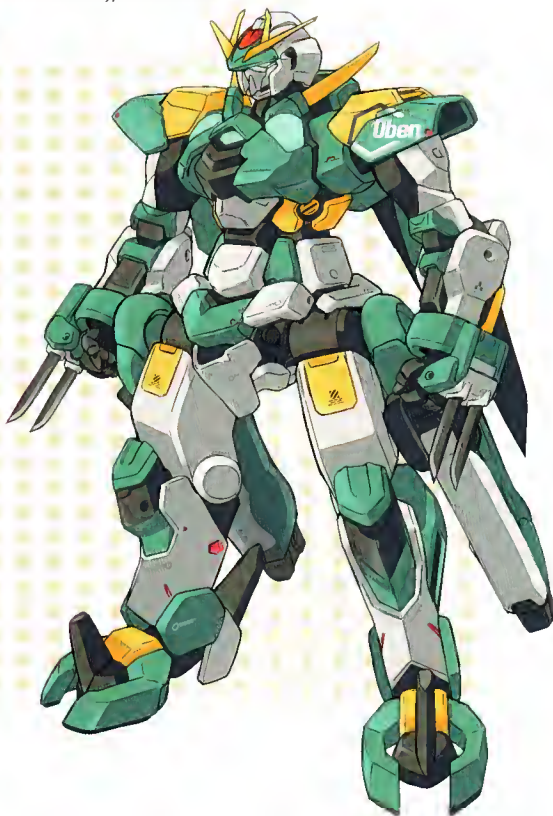
GUNM GRAPTOR

ガンムグラプター

design by 砂漠の狼

実は初めて真面目に描いたガンムです。そのためか細部デザインがなかなか似ずに苦労しました。あと、バツタの巨大な頭をMS状態の形に自然に落とし込めるよう配線しました。全体としては、忍者のような機敏な動きが想像できるようなシルエットを目指しております。

"MIGRATORY LOCUST" Type MOBILE SLAVE



Obenの近接戦闘用MS。

Zooに比べてビースト因子の解析が劣っていたObenは、状況を打破すべくテスト機として本機を開発。MS時の人の動きのトレースに重点を置かれていたがその分高い適合率を必要とする為、テストパイロットの人選に苦労する事となる。

機体の高い運動性を生かし、本機は「格闘」に重点を置いている。

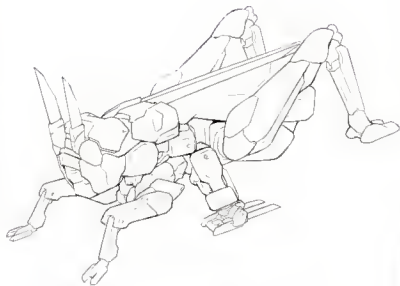
いや、むしろ「それしかない」と言ったほうが正しいかもしれない。

武器も前腕部のヒートクローのみである。

しかしながら、テストパイロットの高い適合率・パイロット自身の「体術」によって高い戦果を上げている。

兵装：Heat Claw





OM-CA01G



GUNM GRAPTOR

ガンムグラプタ

"MIGRATORY LOCUST" Type MOBILE SLAVE

design by 砂漠の狸

顔部がどうしても某ラ○ダーな事になったのはご愛嬌、いやかっこいいからだ！(笑)  
 勇猛な姿構えの割に変形機構の都合で足がやや短くなった為になんとか可愛い雰囲気が出ていますね。  
 前足はM S形態に変形する際は肩の後ろに隠れる形となります。



OM-CA02G



GUNM XSOR

ガンムクロス

"LOCUST" Type MOBILE SLAVE

design by 砂漠の狸

バッタ型に比べて暗い色調にすることで差別化を図りました。

フェイス部のキャノンと肩のミサイルポッドによって、火力支援型のイメージをしています  
 頭部はバタガンムの略称で決まったアス○レイ風顔の意匠をいじって動かせました。

ア○トレイ好きなんです、はい。

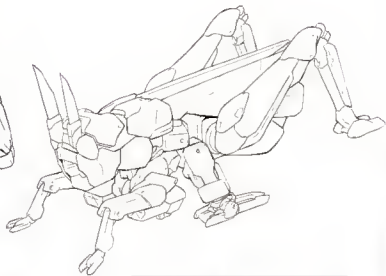


OM-CA01Gの同系機。

外見的にはほぼ同様・前腕部武器の違いくらいであるが、内部的にはパワー重視のセッティングとなっている。  
 スタンナックルで相手の動きを止めた後、力任せに殴るといった戦法を得意とする。

兵装：Stan Knuckle





OM-CA02G



GUNM XSOR

ガンムクロスー

"LOCUST" Type MOBILE SLAVE

design by 砂漢の狸

目が赤いからこちらの方がよりライ○ー風?!  
 腹にミサイルポッドを抱えてる都合上あまり居めないため、  
 バッタ型に比べると大きなジャンプは出来ません。  
 漢字で飛蝗(バッタ)と書くのに対して蝗(イナゴ)と書く所から来ています。  
 カラーリング含めて空のバッタ、陰のイナゴといったイメージでまとめました。



OM-BR02G



GUNM SNIPER

ガンムスニッパ

design by スケキヨ

今回少し変わった変形を目指しました。

あえて背負いものは使わず、MS元形の部位のみでカニになります。スネに収納されるバズミは、長距離砲撃をつとぎの支えに使ったり、近接戦で、シールドとしての役割があります。

"CRAB" Type MOBILE SLAVE



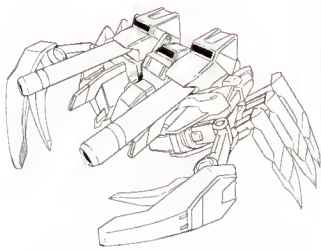
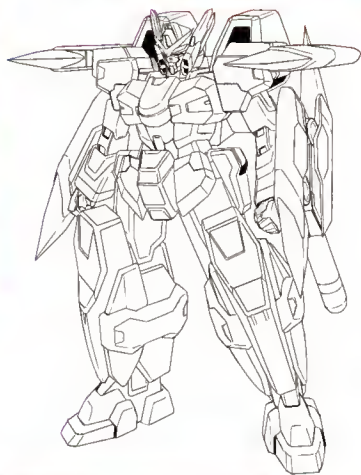
Obenの水陸両用MS。

連邦のWARNEAを景観し、遠距離相手には背部長距離砲・近距離相手には腹部ヒートソードと、遠近両方に対応した装備を持っている。

運動性を犠牲にしたその重装甲は、言うなれば歩く要塞といった所か。

兵装：Longrange Cannon Heat Sword





OM-BR02G



GUNM SNIPER

ガンムスニッパ

"CRAB" Type MOBILE SLAVE

design by スケキヨ

移動砲台をイメージしています。後方支援を行いつつ、近づく敵をバサミと割て殲ぎ払います。どこから接近されても対応できるよう、脚はすべてヒートソードとしての運用を考えています。



OM-DY05G2



# **帝王 GUNM**

**スイオウガンム**

design by 倉持キョーリユウ

以前デザインした甲王との魁勇化を計り、ボリュウムを上半身を集めつつ分り易いデザインを考案しました。さらにイメージカラーをMS時の赤から、MA時の黒へと大きく変化させることで実物に忠実化されたときに遊んで楽しいやうに配慮しました。

"BEETLE" Type MOBILE SLAVE



OM-DY03G 甲王 GUNM の次世代機。

指揮官用・強襲機のコンセプトを引き継ぎ、全てを再設計して新生した機体。  
ジェネレーター出力が旧機体より 25% 増強された上、装甲材質の見直しにより機動性は旧機を遥かに上回る。  
背部に装備された "Buster Horn" は高出力ビームライフルとなっており、  
また、発射口でビームランスを形成させる事で近距離戦闘もこなす。

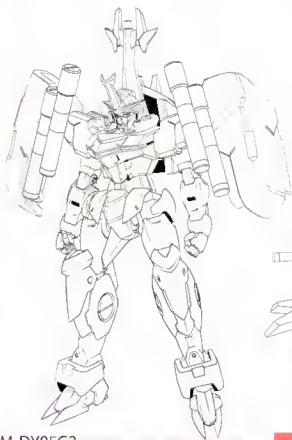
兵装：Buster Horn





OM-DY03GのMA形態が主に大気圏突入用だったのに対し、本機では主戦場が地球上に移行したに伴い、大気圏内飛行用になっている。

機体側面に巨大プロペラントタンクが装備されている為、長時間の飛行が可能である。



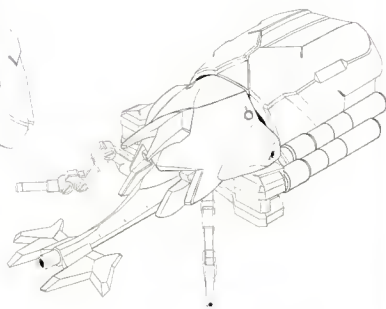
OM-DY05G2



觜王 GUNM

スィオウガンム

"BEETLE" Type MOBILE SLAVE



design by 倉持キョーリウ

以前デザインした甲王との差別化を計り、ポリウムを上半身に集めつつ分かりやすいデザインを構築しました。さらにイメージカラーをMS時の那から、MA時の黒へと大きく変化させることで実際に商品化されたときに遊んで楽しい物になるように配慮しました。



OM-LU04G2



DYBILE GUNM

ディバイルガンム

design by 倉持キョーリユウ

ベリナーの発展型ということで、より武装の実用性を考えたデザインを心がけました。  
魔王と並んでもよく映えるようにボリュームを増やしつつ、機動性を感ぜられるよう  
に注進しています。

"STAG BEETLE" Type MOBILE SLAVE



OM-LU02G GUNM VELNERの次世代機。

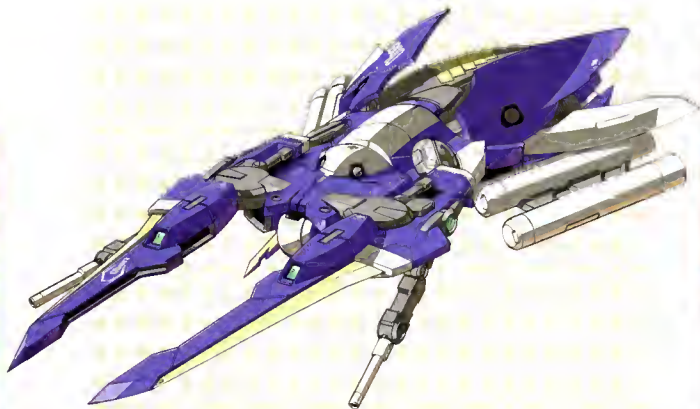
こちらも OM-DY05G2 同様に旧世代機のコンセプトを継承した新設計機である。

OM-LU02G では MA 形態の大顎は MS 形態ではほぼ使用されなかったが、本機は MA 形態の大顎＝MS 形態の武器である為大幅な軽量化に成功している。

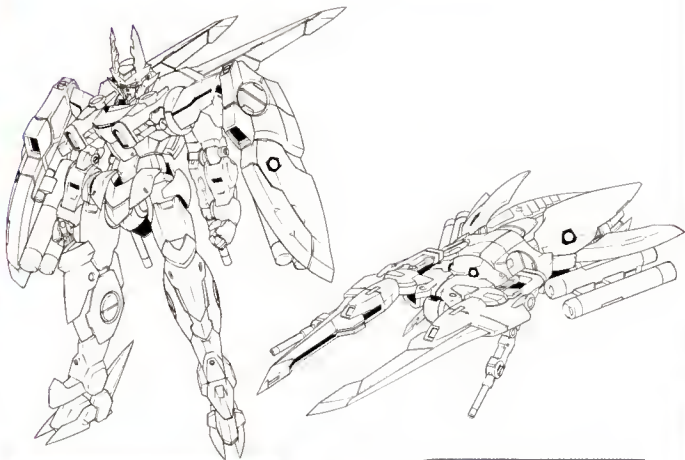
2本の超振動型ヒートブレードを巧みに扱い敵を両断していく様から、連邦では「蒼い鬼神」と呼ばれている。

兵装：V-Heat Blade





こちらも大気圏内飛行用の形態となっている。  
メイン推進器を全開にした変形形態をとることも可能。  
突撃による衝撃と大顎の力によって真っ二つに引き裂かれた MS は数知れない。



OM-LU04G2



DYBILE GUNM

ディバイルガンム

design by 倉持キョーリユウ

兼王力強さをイメージしていたので、こちらでは鋭さを感じられるようなデザインを目指しました。ベリナーよりもクワカタしくなっているのに、メカとしての鋭利力のようなものを感じられる仕上がりになったと思います。

"STAG BEETLE" Type MOBILE SLAVE



OM-SC06G



GRAFFIAS GUNM

グラフィアスガンム

"SCORPION" Type MOBILE SLAVE

design by 倉持キョーリユー

MS形態では尻尾を主眼させるようなデザインにしました。

MA形態では1/3サミが目立つので、良い感じに変形の面白さが出ている機体になったのではないのでしょうか。



"Verminous Detachment" の一機。

本来は要塞等の特殊破壊工作用として開発が進められており、肩部ビームキャノンによって障壁を破壊後、MA時に尾にあたる部分"Piercing Flail"を伸ばし敵重要施設をピンポイントに破壊するといった運用を想定されていた。

しかし"Verminous Detachment"に配備される事となり、対MS戦を強く意識した改修が施され、

"Piercing Flail"にはコンピューターウイルスを仕込む機能を追加、たまた単に敵を破壊するのではなく敵機を乗っ取る事によって相手側の混乱を誘うという戦術が考案されている。

兵装：Piercing Flail Mega Beam Blaster Heat cutter





(尾を除いた) 全高がかなり低い為、奇襲戦法を得意とする。  
尾の先端にはビームガンが装備されており、中距離までの射撃をカバー。  
胴部分には特殊な装備がなされているが、相手 MS の関節を引き千切る程のパワーを持っている。



OM-SC06G

GRAFFIAS GUNM

グラフィアスガンム



"SCORPION" Type MOBILE SLAVE

design by 倉持キョーリユウ

ハサミと胴のボリューム感が気に入っています。  
形状的には挟むよりは突き感じになりそうですが、  
MS形態へ変形した時との違いの変化など、作中でも活躍してくれるのではないのでしょうか。





OM-MA05G



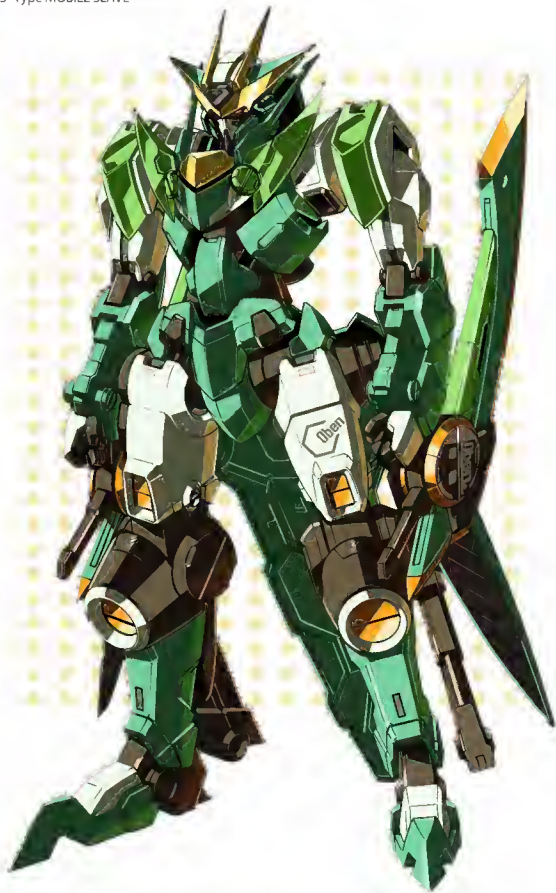
EBRACT GUNM

イブラクトガンム

design by 倉持キョーリユー

昆虫でも肉体的なイメージが強いカマキリなので、棘などを鋭く戦術的なデザインになるよう工夫しました。さらに他のMSとの差別化と、後述のMA形態への変化を担って下半身のボリュームを増やしています。

"MANTIS" Type MOBILE SLAVE



"Vermicious Detachment" の一機。一対一の戦いに特化した機体。

兵装も頭部機関砲と胸部に装備された影のみである。

この剣は新開発の超振動型ヒートブレードとなっており、胸部に装備したままトンファーのように使える他、手持ちにする事により相手に応じた戦い方が出来る。

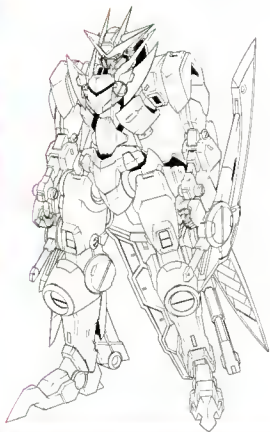
武装が少ない反面運動性に優れており、MA 時にも使用されるホバーによって従来のとは比べ物にならない機動力を誇る。

兵装：Head Vulcan V-Heat Blade





機体下部の推進装置（ホバー）を使い、滑るようにして高速に地上を進む事が可能。  
足が2対あるがこれは歩くみというよりは、ほぼ着陸脚のような扱いとされている。  
この形態ではプレートは刺すように使う事になるが、総振動の効果により刺さった所からそのまま引き裂いてしまう。  
見た目よりも間合いが広いので、それを見誤った相手は自らの無様な死を晒す事となるであろう。



OM-MA05G



EBRACT GUNM

イブラクトガンム



design by 倉持キョーリユ

足が細く4脚になっていっしょにスッカリします。  
その分MS形態時よりも両腕のカマがより強く主張されるようになっています。  
カマキリの体型を生かして大胆に変化する、面白い変形になったと思います。

"MANTIS" Type MOBILE SLAVE



OM-AR04G



ARGIOS GUNM

アルギオスガンム

design by 倉持キョーリユウ

"SPIDER" Type MOBILE SLAVE

足の多さもさることながら、腰部の大きさもMS形態時に頭の痛いところで、やや苦勞した印象があります。臀部など見るクモの不気味なイメージを、さらにカラーリングで毒蜘蛛のような危険な存在に仕上げました。



Oben の特殊攻撃部隊 "Vermicious Detachment" の一機。

本来、AR04G, MA05G, SC06G の3機は地球上における次期量産機のテストヘッドとして開発が進められていたものであるが、

昨今の戦況・主に Zoo の GUNM 系 MS への対抗策が早急に必要であると判断され、より実戦的な改修が施された。

Zoo の MS と同じフィールドに上がっての戦いを見越し、近距離用の武装が大量に装備されており、

前腕部に隠しに入ってきた MS を切り刻む超振動ワイヤーを装備。

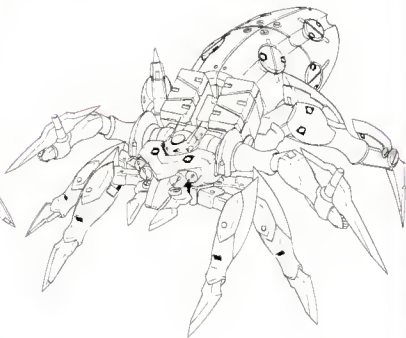
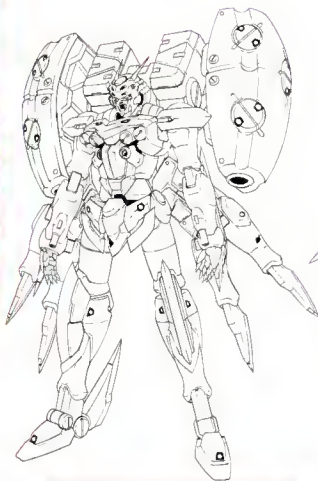
ワイヤーの結界を抜けてきた者には腰部や脚部に装着されている刃で格闘戦を仕掛ける。

兵装：H.F Wire Spider Bit Adhesive String Sonic Edge





特殊兵装として粘着性の糸 "Adhesive String" が装備されており、これによって敵 MS を行動不能にした後、子蜘蛛型自走誘導爆弾 "Spider Bit" を取り付けるといった戦い方も可能である。この爆弾は元々対人兵器として開発されていたものであるが 1 発の破壊力はそれほどでもないが、MS の関節部等を集中的に狙うことにより威力を発揮する。



OM-AR04G



ARGIOS GUNM

アルギオスガンム

design by 倉持キョリユウ

クモの足を減らすようなデザインはしないと決めてから描いたので、クモらしいクモになっていると思います。そろそろ現実世界でも、兵器としてクモを元にデザインされたものが実用化されそうですね。

"SPIDER" Type MOBILE SLAVE



OM-CO01G



UBHEL GUNM

ウベルガンム

design by 倉持キョーリユ

Obenのマークにも使われているtentウムシなのですが、メイン装備はシールド系でパイロットはお隠れです。やや熱い炎気を出しつつ潜って皆を守るという、パイロットの弱さと強さが出せると良いのです。

"LADYBUG" Type MOBILE SLAVE



Oben 財団によって開発された機体。

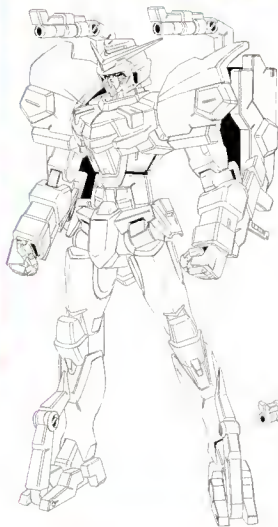
重要人物が搭乗する事を想定して作られたため、華奢な外見からは想像もつけない程頑強となっている。

その一端を担っているのか上半身に装備された "Photon Buckler" である。

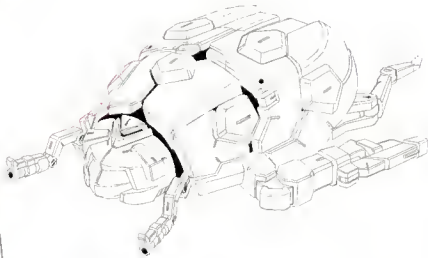
この光の盾はビームはもちろん実弾に対しても高い防弾力を誇っており、並みの攻撃では突破は不可能であろう。

兵装：Beam Cannon Beam HandGun Photon Buckler





MA形態時にも前述の"Photon Buckler"は使用可能である。  
 掌るMS形態より発生ユニットが集中する為、防御力はさらに高くなっている。  
 光の盾をフル展開した状態で突撃する事も可能であるが、役割的に使用する事は無いと思われる。



OM-CO01G



UBHEL GUNM

ウベルガンム

"LADYBUG" Type MOBILE SLAVE



design by 倉持キョーリユー

細めのMS形態とは逆に、ゴツゴツとしたデザインです。それでも他のMAと違って、  
 bあくまでテントウムシとして攻撃味にならない、強く見えないように注意しました。





OM-C002G



ARAK GUNM

アラクガンム

"LADYBUG" Type MOBILE SLAVE

design by 倉持キョーリユー

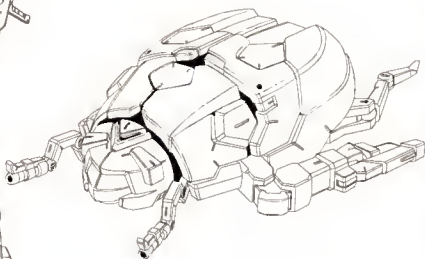
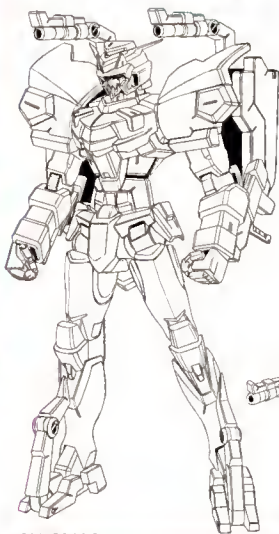
パイロットの性格がデントウムシとは逆で、しかもモチーフが美しいフタツボシテントウ。  
 腿脚の形状をやや強そうに変更しつつ、黒色に黒系でカラーをまとめて攻撃的な雰囲気を持たせました。



C001G 同様、オーヴェン財団によって開発された機体。  
 C001G のマイナーチェンジ版ではあるが、こちらはより攻撃的な調整がなされている。  
 本機の特徴は光の盾の攻撃的転用であり、"Photon Buckler" は搭載数が 2 基と減ってしまっているものの、  
 有線で遠隔操作することによりカッターとしての使用が可能になっている。  
 また、光の盾の搭載数が減少したことによって出来た出力の余剰を利用し、ビームキャノンの攻撃力が増強されている。

兵装：Beam Cannon Beam HandGun Photon Buckler





OM-CO02G



ARAK GUNM

アラクガンム

design by 倉持キョーリユウ

フタツボシテントウなので防衛力は2/7なのですが。  
カラーリング以外にも、星がのった分のディテールを追加してバランスを取りました。

"LADYBUG" Type MOBILE SLAVE









OM-CI01G



QUENT GUNM

クエントガンム

"CICADA" Type MOBILE SLAVE



design by スケキヨ

体の厚さが増すと高機動形態らしさを損なうので、肩位まではそのまま、  
前後に長いスラスターとして本体に溶け込ませようとしています。  
また、膝の黒と紫の部分が展開して、MSの脚部分を変えるランディングギアになります。





## テンテン=オーベン

宇宙移民を提唱したオーウェン財団総帥の孫。その家柄を利用されプロパガンダに使われている。自らの責任を果たしているだけだと強がっているが、本心では人を戦争に駆り立てている事に不安を感じている。

ウベルカムのパイロット



## ジェニス=オーベン

テンテンと従姉妹であるが、その性格は真逆で好戦的。積極的に軍部に間わりを持ち、政治的な駆け引きを繰う。パイロットとしての腕前はエース級である。

アラクガムのパイロット。



## ミンミン

歌手を夢見てレッスンに勤んでいたが、親友のテンテンが家の事情で軍に入隊させられる事を知り、自らの夢よりも親友を守るとオーベン軍に入隊する。

本名はミント・ミナミだが、本人の希望によりミンミンと登録されている。

クエントガムのパイロット。



## シャオリー

雄雄率の逢人て戦いを好む。

好むと言うより戦う為に戦っている戦闘狂。

休日には戦う相手を探して街を徘徊し、悪人を見つけ

ては瞬い掛かり何処かへと連れ去ってしまう。

なぜか獲われた者は二度と戻ってこない。

イブラクトガムのパイロット。





### サクラ=ウエノ

ガンムネームスのデイマー。  
ハルノと共にZOOで事務の仕事をしていたが、ノ  
リでハルノを巻き込みデイマーとして戦う事を決意  
する。大雑把だが天性の感の良さを持ち、戦場では  
危なげなく任務をこなす。



### ハルノ=イツカ

ZOOが壁に当たった時は事務員として働いていた  
が、オーブンの襲撃を機に周囲に流されてエオス  
トレガムのデイマーになってしまう。戦いは嫌  
いだか、どんな任務もそつなくこなすので評価は  
高い。



### メーハー=バロウス

デヒロのクラスメイトで副委員長だったが、非常に高  
いデイマー適性を期待され北極基地 ISDN に転属とな  
る。ランフォールガンムのデイマーとして日々訓練に  
励んでいたが、北極の寒さに身体が差して脱走。現  
在南の島でバカンス中。





## ぼくらの愛が過去を偽る

■企画  
倉持図鑑

■表紙  
スケキヨ

■メカデザイン  
倉持キョーリユー  
スケキヨ  
砂漠の狸  
Kaz

■キャラクターデザイン  
椎茸 うりも

■設定考証  
武藤和真

■ネーミング考証  
武藤和真

■キャラクターネーミング  
Yura

■「NOSTALGIC FICTION G:BEAST INSECTS (vol.5)」

■発行日 2012年08月12日

■発行元 倉持図鑑

■twitter: kyoryu\_kuramo

■pixiv ID: 33337

■Email: kuramo@inter7.jp

■ご意見・感想などありましたらお気軽にご連絡ください。

■禁・無断転写・コピー



